

奇跡の歴史通り大内宿

NHK 昼のテレビ番組で大内宿が紹介された。たまたまテレビを見ていた私は時代劇のセットだと思い込んでいた。しかしそれ以降何度かその場所が紹介されるたびに、平成の時代にこんな場所があったのかと大変なショックを受けた。詳しい場所はわからなかった。いつか必ず行ってみたい。その夢が叶う日がやってきた。

そこが大内宿という名前さえ知らなかった。インターネットを開く中で更にショックを受けた。それは東北・福島県の山の中にあったのだ。東北自動車道の白川インターチェンジを降りて進むこと山の中の山。途中の道路で猿と出くわしたほどの山の奥。

信じられないような南会津の山間部であった。山の中腹に即席で作られた駐車場を降りて暫く歩いた。興奮する気持ちは抑えられない。突如奇跡の大内宿は現れた。こんな素晴らしい宿場町が今の日本に残っていたのだ。全長 450 m の広い道の両側に寄棟造の民家が整然と並んで建っていた。夢の国に来たようにさえ思えた。

ここは会津城下と下野の国（日光今市）を結ぶ 32 里区間の中で、会津から 2 番目の宿場として 1640 年頃整備されたとか。30 軒以上の茅葺き屋根の民家が並ぶ様子は極めて珍しく、その魅力を求めて年間を通して約 120 万人の観光客が訪れている。1981（昭和 56）年には重要伝統的建造物群保存地区の指定を受けている。店番をしている老婦人に声をかけてみた。地元の素朴な言葉使いが何とも爽やかであった。いつまでもお元気でね！心の中で声をかけた。この素晴らしい貴重な日本の遺産が後世にまで継承されるようにと祈った。

撮影 2014 年夏

